

道儀商店 (秋田県)

世界遺産に登録された白神山や百名山の鳥海山、深き日本一を誇る田沢湖、そして武家屋敷が残る角館など、秋田県は日本有数の名所の宝庫だ。金属リサイクル事業を手掛ける道儀商店(秋田県秋田市、松原真優美社長)は1951年(昭和26年)に創業。今年2月に松原真優美氏が4代目社長就任した。そんな同社で活躍するのがコマツのフォークリフトFE3012。今回は道儀商店を尋ね、事業運営や今後の展開について話を聞いた。

創業70年の老舗スクラップ ディーラー

道儀商店は1951年(昭和26年)に松原道儀氏が金属回収業として創業。その後息子の松原久夫氏、久夫夫人の松原朋子氏が社長を歴任。今年2月に久夫・朋子氏の娘である松原真優美氏が4代目社長に就任した。創業70年の歴史をもつ老舗スクラップディーラーだ。

主に解体現場で発生するスクラップの引取をメインとし、国内電気炉メーカーへ納入するのはもちろん、アジアなどへの輸出も行っている。主要設備はテヅカ製の油圧シャー(1250

トン)、プレス機、放射線探知トラックモニタ、蛍光X線分析器のほかフォークリフトや多様な車両をおよそ20台所有している。そんな同社が新たに導入したのがコマツ製の電動式フォークリフト「FE3012」だ。昨今話題になることが多い環境面を考慮しての導入に至った。



道儀商店



「とも氏は言う。そういったアフターサービスの徹底が顧客への信頼に繋がっているようだ。同社が導入した「FE3012」は電動式のフォークリフト。動力源がバッテリーでありながらエンジン式と同等の走行性能・走破性・登坂力を表現している。

また、電動式ならではのメリットと言えるCO₂等の排出ガスはゼロ。現場環境の大幅改善に貢献する。ランニングコストについては、化石燃料を使うディーゼルエンジン式に比べ約1/5ほどになり、低燃費性が期待できる。耐久性・防塵性にも優れている。従来であれば屋内作業として稼働することが多かった電動式のこと



操縦する豊島さん

今後のビジョン

今後のビジョンとして三輪副社長は「今後5年を目標に油圧シャーを更新したい」と話し、「フォークリフトをはじめトラックなども更新の時期が来る。その更新の時期と油圧シャー更新の時期が被ることがないよう

うにしたいと考え、今回のフォークリフトの導入に至った経緯もあること、今後控える油圧シャー更新を見据えた動きをしていく発言をした。同社では「10年後ビジョン」が社の目指す



松原真優美社長



松原社長と三輪副社長

して、資源の環を追求し皆が幸せに暮らせる社会を目指した様々な取り組みを行っている。従来の鉄スクラップの加工処理に加え、お客様からの要望により機械解体を開始した。中国への雑品輸出がでなくなってきたときは、他県の同業者に依頼して金属類を回収

また、地域社会への貢献も忘れていない。高齢者や障がいのある方を雇用。様々な人たちが地域で活躍できる機会を創出し、地域雇用や環境問題に注目したい。

会社概要

会社名 有限会社 道儀商店
所在地 〒011-0951 秋田県秋田市土崎港相楽町浜ナシ山117
創業 1951年(昭和26年)6月
設立 1984年(昭和59年)4月
代表者 代表取締役 松原真優美
営業内容 金属スクラップ収集・再生
金属スクラップ(鉄および非鉄金属)の買入れ・加工・販売
許認可番号
廃棄物再生事業者(秋第10号)
産業廃棄物収集運搬業(秋田県No.20861000243)
自動車リサイクル法 引取業(秋田市No.20861000243)
古物商許可証(秋田県公安委員会No.231170000275)

安視されがちなパワー問題も、エンジン式のフォークリフト同様の力を発揮していることが見て取れた。



定置式急速充電器



自動ロック式の新型充電プラグ



急速充電中の大型カラーマルチモニター



バッテリー充電時の様子

お問合せ先 コマツカスタマーサポート株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー
URL <http://kcsj.komatsu/>

